



無所属 中村 浩 議員

- 1 防災行政無線についてパート2
- 2 Cバスについてのパート13

質問1 同報系システムの構築計画について。屋外拡声装置(支柱)を高くすることで広範囲に音声が届き、支柱の本数が少なくて済み、経費の節減ができるのではないかと。県の津波浸水想定の見直し調査で、想定が変われば避難所も再指定するのか。

答弁1 昨年度にアナログ方式からデジタル方式に更新を行った。市庁舎5階に統制室を設置し無線システムの統制管理を行い、緊急地震速報や津波警報などの緊急災害情報を無人時の休日や夜間でも、自動的に防災行政無線に伝達するとともに、FM告知放送の

サブセンター装置も配備しているため、鈴鹿ヴォイスFM局の放送に強制的に割り込んで緊急放送を行うことも可能となっている。屋外拡声装置の支柱高は15メートル以内が基本だが、最小の経費で最大の効果が得られるよう設計段階で十分に検討を行う。避難所の再指定は、県の調査を踏まえ検討したい。

質問2 市長はこれまでの私の議事録を読んだのか。また、Cバスに乗った回数とルートを教えてほしい。Cバスの現状と将来をどのように考えているのか。

答弁2 全てに目を通してないが、これまでの経緯や議員の質問について、担当部署から説明を受けている。これまで乗車機会はなかったが機会を設けたい。今後については運行計画の見直しや改善を行いながら利用の拡大に努め、事業を継続したい。



あくていぶ21 宮木 健 議員

- 1 消防について
- 2 夜間小児科の対応について
- 3 公民館について
- 4 通学路について

質問1 大規模災害時における消防団のあり方について、福利厚生について。

答弁1 多数の犠牲者を出した今回の震災を教訓とし自らの避難も考慮した適切な避難誘導を示唆した。福利厚生の現状は、従来通り維持するよう努める。

質問2 夜間小児科の対応について。

答弁2 応急診療所及び鈴鹿中央総合病院で、診療を行っている。午後10時30分から翌朝8時30分までは、津の三重病院、四日市の県立総合医療センターへの

搬送となっている。小児科医確保について、三重大学医学部へ継続的に要望を行っている。

質問3 公民館一元化後のあり方と男女別トイレの改修計画について。

答弁3 現時点で最後に一元化した施設は若松公民館で単独公民館は11館となった。今後も現状を基本に取り組みでいく考えであり、避難所でもある公民館のトイレ改修は年次計画的に取り組んでいく。

質問4 神戸中学校周辺の通学路になりうる道路整備はどうなっているのか。

答弁4 百々川橋北詰交差点より西へ450M区間の歩道整備と適正な道路拡幅を一体的に整備する為の測量と道路設計に入る。



リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

- 1 安全安心のまちづくりについて
 - (1) 自殺予防への取り組みについて
 - ① 施策としての取り組みについて
 - ② ゲートキーパーの取り組みについて
- 2 教育について
 - (1) 教育行政について
 - ① 新教育長としての取り組みの考え方
 - (2) 開かれた学校について
 - ① コミュニティスクールについて

質問1(1)① 13年連続で30人以上の自殺者が出ている現状をどう認識しているのか。また、取り組みを次期行財政経営計画に入れるべきである。また、「鈴鹿市自殺防止推進協議会」の設立について。

答弁1(1)① 自殺問題は本市にとって真剣に取り組まなければならない重要な課題と認識している。行財政経営計画については、1つの事務事業として位置づけを行う。また、協議会の設立に向けプロセスを固め、調整を図りながら取り組んでいきたい。

質問1(1)② ゲートキーパーの取り組みは。

答弁1(1)② メンタルパートナーとして、県の使用する独自の名称を用いて養成研修を実施したい。

質問2(1)① 新教育長としての抱負は何か。

答弁2(1)① 学校現場と教育委員会の一体感を深め、心をつなげて教育の振興と発展に取り組む。

質問2(2)① 非常勤職員となる運営委員の守秘義務などの責任の所在について。

答弁2(2)① 任命責任者の教育委員会にある。